

ぐんぐん
伸びる!



畑の 果樹の根張りに!

カルシウム



ブドウ



モモ



ナシ



カキ



リンゴ



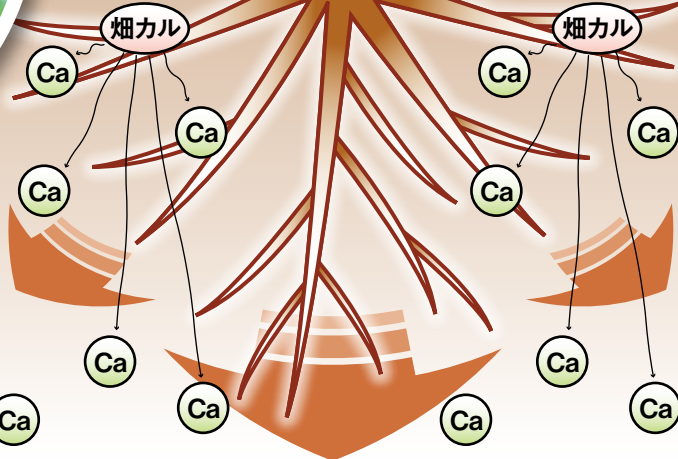
スモモ



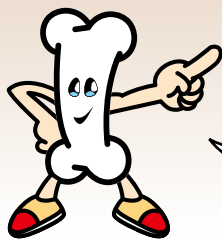
サクランボ

下にどんどん
伸ばせるぞ!

細い根も
増えてくる!

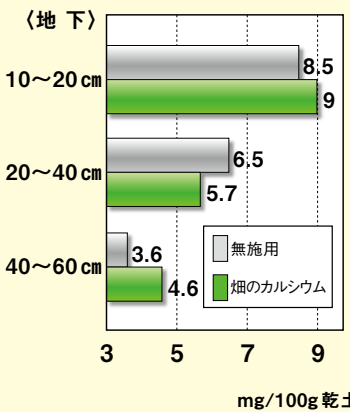


根張り効果が
スゴイ!



「畑のカルシウム」

秋施用によるカルシウムの移行



※11月5袋 / 10a施用し、翌年4月に土壌調査
※山形県内のサクランボ園地にて試験

供給



JAグループ

製造



片倉コープアグリ株式会社

果樹の根の分布は、広く深いのが特長です。
そのため、下層へ移行しやすいカルシウムの
施肥で根張りの改善が期待できます。

だ・か・ら 畑のカルシウム

畑のカルシウムは、
硫酸カルシウムを撒きやすく
粒状にしたカルシウム資材です。



畑のカルシウム 3つの特長

- 特長 1** 水に適度に溶けやすく、カルシウム欠乏症に効果的!
- 特長 2** 下層土を改良し、根が深くまで伸びる!
- 特長 3** 土壌のpH (ペーハー) を上げません!

根張り効果!

欠乏症状

ブドウ	上葉の葉縁が黄変する。また褐色斑を生じる。先端葉は枯死。
リンゴ	果実に現れやすい。ビターピット (果実に褐色や赤色の斑点を生じる) の発生。
ナシ	発育枝の先端葉の葉縁枯死、果実に裂果を生じる。石ナシの発生。

参考: モモの収量と肥料要素吸収量

単位: kg/10a当たり

果実収量 (t)	チッソ (A)	リンサン	カリ	カルシウム (B)	マグネシウム	(B)/(A)
3	15	6	21	27	4.5	1.8

参考: ブドウの収量と肥料要素吸収量

単位: kg/10a当たり

果実収量 (t)	チッソ (A)	リンサン	カリ	カルシウム (B)	マグネシウム	(B)/(A)
1.5	6	2	9	10	2.1	1.7

畑のカルシウムの分析例 (%)

カルシウム	水溶性カルシウム	硫黄	水分	pH
28.5	26.3	17.0	0.6	5.1

※水溶性カルシウムは、現物1gに水500mlを加え抽出し測定。

施用時期	施用方法	施用量
秋または春	表層施肥	100kg (5袋) / 10a

カルシウムの役割

細胞壁を強化する

ペクチン酸とカルシウムが結びついてできる作物体の細胞壁が丈夫になり、病気に強くなる。

炭水化物を果のほうへ移行させる

作物は生育中期から成熟期にかけて多くのカルシウムを必要とする。それはカルシウムが同化養分を貯蔵器官 (子実) に移行集積させる働きがあるからなんだ。

ストレス耐性が高まる

低温や乾燥、病原菌の侵入を防ぐ役割がある。

根を伸長させる

カルシウムは、植物の分裂組織、とくに根の先端の生育に欠かせない働きをするよ。

